

平成26年度南丹美術工芸パートナーズスクール事業



南丹市立殿田小学校 & 京都美術工芸大学

高校や大学等と連携し、児童がより専門的な指導を受けて作品を制作することを通して、美術的技能の向上を図るとともに、美術工芸への興味・関心を高め、文化の継承と発展への基礎を培うことを目指して、南丹美術工芸パートナーズスクール事業を開催しています。

今回は、9月4日（木）・5日（金）の2日間にわたって、京都美術工芸大学の玉村嘉章先生と5人の学生の皆さんが南丹市立殿田小学校4年生11名の子どもたちに、ランプシェードづくりを指導してくださいました。



世界に一つだけのランプシェードを作ろう

- ①デザインを考えよう！
- ②のこぎりを使って、木を切ってみよう！
- ③切った木を組み立てよう！
- ④和紙をはろう！

殿田小学校の図工室に入ると、上のような板書があり、活動への見通しを持った子どもたちは、集中して制作していました。

はじめは、緊張していた子どもたちでしたが、汗をかきながら一生懸命にのこぎりを使って木を切っていると、「もう少し近くを押さえるといいよ。」と優しいアドバイスをもらったり、設計図をもとに部品を切り出していると、「ぼっちりやなあ。」と言葉をかけてもらったりしていました。

また、けやき・ほお・きはだの3種類の木材の色や模様、堅さなどの違いに気付き、どの木材を組み合わせるかを考え、個性的な作品を仕上げることができました。

小さい部品の切り方、組み立て方、ボンドを使った接着の仕方などを教えてもらい、それらを習得した子どもたちは、自信と意欲を持って作品づくりに没頭していました。物作りの楽しさを感じられた貴重な体験になったと思います。

子どもたちに教えてくれた学生の方からは、「教えることの難しさを感じた。自分にはない子どものアイデアに出会い、楽しい時間が過ごせた。これからの自分のものづくりに生かしたい。」という感想を聞かせてもらいました。ものづくりを通して、校種間の素晴らしい連携ができたことを感じる言葉でした。